

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町19-1 Tel 0172-37-6016(代)
発行：編集委員会 印刷：小野印刷所
■新年号(12月1月合併)



新年のご挨拶

代表取締役 石川 隆之



あけましておめでとうござい
ます。本年も昨年
同様よろしくお
願ひいたします。

国民世論を無視して一昨年に強行採決された安保関連法案に基づき、ついに南スーダンへ自衛隊が派遣されました。また、TPP関連法案も新米国大統領が撤退を表明している中、またもや強行採決されました。さらには原発を次々に再稼働させる方針であるばかりではなく、海外に向き輸出の約束までしてくる始末です。福島教訓などまったく無視した態度をとり続けています。沖縄の米軍基地問題も沖縄の民意に歩み寄る気配は全く感じとれません。私たちは平和な日本を願ひ、現日本国憲法を守っていく立場で奮闘します。

さて、安倍自公連立政権が成立してから私たちの暮らしは少しでも楽になったでしょうか。益々格差が拡大しただけではないでしょうか。安倍首相は経済政策の失敗を認めず、ことあるごとに「アベノミクス」は道半ばと言ひ続けています。いつになったら完結するのでしょうか。少子高齢化社会を理由に医療・介護を中心にした社会保障費をかつてないほど削減するための悪法を次々と成立させています。民意をことごとく無視し、民主主義を数の力でゆがめ続けている安倍自公政権には政権運営の資格などなく、即刻退いていただくしかないと考えています。私たちは政府に対して本当に困っている人の視点に立っていただけることを願ひ

頑張ります。

このようにあらゆる分野での政府責任の放棄に伴い、地方自治体の役割が重要性を増しています。当社では今年も自治体が真に困った患者様の視点に立っていただけるよう津軽保健生協等と連携して生活保護受給者への対応や在宅・心身障がい者へのタクシーチケット発行の問題などで自治体と交渉をもちました。引き続きすべての地域住民が暮らしやすくなるよう粘り強く交渉してまいります。

事業展開関連では健生病院・健生クリニックが2017年10月の開設を目指して弘前オフィス・アルカディア地区への新築移転工事が着々と進行しています。それに伴い当社でも新薬局建設の工事が始まり、来春には完成する予定です。新薬局が開設した際は当社の他の薬局同様、よろしくお願ひいたします。

さて、この間、政府やマスコミを通じて保険薬局バッシングが行われ続けています。昨年度の診療報酬改定は薬局にとっては厳しい改定となりましたが、情勢に過度に踊らされることなく真に患者様や地域住民に寄り添った「かかりつけ薬局」を目指して頑張っていく所存です。明るいニュースとしては弘前調剤センターが地域住民の健康をサポートすべく「健康サポート薬局」として県内初となる認定を受けました。また、当社として二つ目の「健康サポート薬局」としてファルマ一ツ谷薬局の認定が決定いたしました。処方箋を持ってこれられない方々もぜひ弘前調剤センターやファルマ一ツ谷薬局に気軽に立ち寄り頂き、健康に関する相談をしていただければと思っております。平和の問題や社会保障の充実、ひいては安心して住み続けられるまちづくりを目指し、今年も昨年以上に努力していく所存です。

謹賀新年



各薬局長から新年のご挨拶



弘前調剤センター
薬局長
相馬 渉

あけましておめでとうござい
ます。昨年の大きな出来事とい
えば、健康サポート薬局の青森
県第1号店になったことです。
全国でもまだ30薬局しかありま
せん。健康サポート薬局の認定
には、様々な要件があり厳しい
ものですが、認定されたのは大
変ありがたく、今までやってき
たことが認められたのです。健
康相談、健康教室、健康チェッ
クなど、様々なことを企画して、



藤代薬局
薬局長
木村 匡宏

あけましておめでとうござい
ます。昨年を振り返りますと、4月
には薬局長の人事異動があり私
は黒石薬局から藤代薬局勤務に
変わりました。

また調剤報酬の改定があり、
特に薬価の引き下げが薬局の経
営には大きく影響を与えまし
た。薬剤師業務の「モノ」から「ヒ
ト」への移行をしっかりと意識
しなければならぬ改定内容で
した。

6月には県と東北厚生局の個
別指導があり、薬剤服用歴の記
載やレセプト請求方法の点検を
行いました。高度管理医療機器
の取り扱い申請、OTC薬の選
定、24時間電話対応の開始、「ダ

地域の人々の健康をサポートで
きるように、今まで以上に貢献
できるよう頑張っていきます。
今年の10月には健生病院は移転
しますが、弘前調剤センターは、
弘前市の在宅医療の拠点薬局を
目指し、この北横町で営業を続
けていきます。そして、我々薬
剤師は、もっといろいろな情報
発信し、処方箋がなくても気軽
に相談に立ち寄ることができ
る、地域に開かれた、かかりつ
け薬局をめざしていきます。

今年も、患者様が健康で元氣
になれるよう弘前調剤センタ
ー職員一同協力し合って、業務に
励んでいきたいです。本年もど
うぞよろしくお願いいたしま
す。

メ・ゼッター運動」や地域個別
訪問などの地域活動に参加など
薬局利用者や地域の方々の健康
を守る機能を整備してきました。
また、職員間では「命を大切
にする憲法を守る」という視点
で憲法の学習を進めています。
命を大切にする医療者としての
自覚をもち、今後も力を入れて
取り組んでいきます。



黒石薬局
薬局長
大川 誠也

明けましておめでとうござい
ます。昨年はイギリスのEU離
脱、トランプ氏の大統領選勝利、
イタリアの国民投票否決など予



ファルマ ーツ谷薬局
薬局長
津川 俊彦

明けましておめでとうござい
ます。
昨年は、憲法を無視した安倍
政権の暴走を食い止めるため
に、初めて野党と市民が共同し
て総がかりで対決した結果、11
の一人区で勝利しました。この



ファルマ 浪岡薬局
薬局長
福士 隆政

あけましておめでとうござい
ます。昨年4月の調剤報酬改定
で新しく点数化された「かかり
つけ薬剤師」は地域活動や在宅
推進など民医連薬局がこれまで
目指してきた薬局活動が認めら
れる内容になっており、私たち
は改定を積極的に受け止め「か
かりつけ薬局・薬剤師」の機能
を更に進めて「薬局機能、薬剤
師機能を地域で活用する仕組
み」として「健康サポート薬局」

想外な出来事が起きました。こ
れは今までの概念では決して起
きないだろうと思うような現象
で、これを私たちの職場に置き
換えて考えたとき、おそらくこ
うだろうと予想していたこと以
上のトラブルが起きる可能性は
常に存在し、危機管理意識を
もって日常の業務にあたる必要
があります。
昨年、健康サポート薬局やか

取り組みを通じて改憲を止める
原動力を作り出し、「政治は変
えられる」と確信した1年でし
た。
薬局としては、「かかりつけ
薬局」「かかりつけ薬剤師」の
役割を前講座や待合室でPR
して、「かかりつけ薬剤師」を
もってもらいました。また、地
域住民の健康を積極的にサポー
トする機能が追加になった「健
康サポート薬局」の取得に向け
て準備した1年でした。12月に
西北五地域では、当薬局が第1

の認定を目指しています。一方
で政府は「戦争する国づくり」
と一体に「税と社会保障の一体
改革」として社会保障全面改革
プログラムを進めています。そ
の本質は社会保障の財源として
消費税を充当し、その引き上げ
を行いつつ権利としての社会保
障を否定し、自助・自立と家族
相互の助け合いを社会保障の基
本とする改革を進めることで
す。そして、医療・介護提供体
制再編として、国にとって安上
がりで効率的な体制づくりが進
められ、その一つとして地域包
括ケアシステムの構築が推し進
められています。
全日本民医連は政府が目指す
地域包括ケアの対抗軸として①

かりつけ薬剤師制度など、新し
い形態が国の政策として始まり
ました。大事なはその後どう
いった活動を続けていくのかに
あります。地域住民のために試
行錯誤し、黒石薬局でも新たな
取り組みを企画中です。薬局の
評価は医療提供者や行政が一方
的に行うものではなく、あくま
で患者様目線で行うべきもの
で、地域の中に入り信頼される

号に認定されました。県内でも
弘前調剤センターに続き2番目
でした。また、実務実習の受け
入れをして地元出身の薬剤師養
成にも関わりました。10月には、
当薬局スタッフが認知症フォー
ラムの寸劇に出演しました。
最後に、今年はファルマ弘前
薬局のオープン年です。命運
をかけた最初の年です。全役職
員の奮闘で成功させ、地域から
ますますファルマの薬局が愛さ
れるようにみんなで頑張りたい
と思います。

たたかしの課題として地域包括
ケアを公的給付費削減、営利化、
市場化を前提とした「排除シス
テム」にさせない取り組み②非
営利事業としての役割、存在意
義の発揮③自治体との関係づく
り、地域の共同をすすめること
という3点に整理しています。
私たちが目指す、医療・福祉の
理念は「誰もが」「人間らしく、
その人らしく」「安心して」住
み慣れた地域で暮らし続けてい
くことが大事であり、政府が目
指す安上がりな医療・介護の供
給ではありません。ファルマ浪
岡薬局は今年もこの理念を中心
に地域の皆様といたしよに活動
していきたいと思えます。

薬局を目指していきます。
そして職場環境です。黒石で
は昨年、お互いが気持ちよく仕
事が出来るよう、声をかけあい、
感謝の気持ちを表す行動を続け
てきました。まだまだ改善する
余地はありますが、やりがい
をもって仕事出来る、ずっと働
き続けたい職場と思ってもらえ
るようこれからも努力してい
きます。

全日本民医連2016年度 県連経営委員長会議

11月24日(木)～25日(金)の2日間に渡り全日本民医連経営委員長会議に参加しました。

1日目は「全日本経営部の問題提起」の討議でしたが、冒頭に吉中経営部長(医師)より「民医連経営はいま大きな困難に直面している」と直球が投げられ緊張感が走りました。この間の診療報酬改定により民医連の医療機関における経常利益は5年連続低下し、事業キャッシュフローも下がり続け経営を圧迫しています。

民医連外の医療機関も同様ですが、この背景には安倍政権による社会保障切り捨てや消費税増税が影響していることは言うまでもありません。一方で健生病院も合せて病院リニューアルを控えている民医連法人が多くあり、建設コストが高騰してい

取締役総務部長 崎野 修

取締役総務部長 崎野 修
の中で今後の経営をどう乗り切っていくか真剣な議論が繰り広げられました。

2日目は分散会となり医師確保、地域包括ケアと18年同時改定、地域医療構想への対応など多岐に渡る経営課題について討議しました。

あらためて地域に無くてはならない民医連事業所の存在意義に確信をもち、理念やビジョンを明確にして具体化することとトップマネジメントの強化が重要だと感じました。



問題提起に関する報告をされた全日本経営部の吉中経営部長

が鋭意進められており後戻りはできません。今回の問題提起と全国の教訓より、この成功に向けて最も重要なことは具体的な中長期経営計画と資金計画の作成、全職員参加による討議であることをあらためて確信をもちました。

青森県民医連2016年経営セミナー

11月19日(土) 青森市花岡農村環境改善センターにて、青森県民医連2016年経営セミナーが開催されました。

当日は70名を超える参加者が各法人の役職者を中心にいました。まず田中淑寛公認会計士より第一講座として「全国の経営状況とリニューアル法人の経営教訓から学ぶ」のテーマでお話がありました。続いて第二講座は津軽保健の移転計画を基にしたのキャッシュフローと必要利

本部 主任 阿部 千佳子

益獲得の重要性についてお話がありました。

田中公認会計士は繰り返し、全役職員が羅針盤となる中長期経営計画をもち、経営を遂行していくことを話されていました。ファルマでも来年度新薬局が開設されます。それと同時にファルマでも全職員が中長期経営計画を把握し、一丸となって目標に進むための話し合いをこれから続けていきたいと思いました。



田中淑寛公認会計士(左)

弘前調剤センター健康教室



調剤室見学で、全自動錠剤分包機による一包化の説明をする西沢薬剤師(左)

12月3日(土) 弘前調剤センターで健康教室を開催しました。今回は15名の地域の方々にご参加くださいました。オスメの健康食品等の試食・試飲、葛西薬局長補佐による健康サポート薬局についての講義、高橋主任と西沢薬剤師によるお薬ができるまでの流れについて説明しながらの調剤室見学等を行いました。

地協薬剤師事務交流集会 in山形

ファルマ浪岡薬局 薬剤師 村上 昌

11月12日(土) 13日(日)に開催された地協薬剤師事務交流集会in山形に参加しました。全国から100名を超える薬剤師、事務の方が集まり交流を深めました。

この交流会を通して各県の方々のお話しや発表を聴き、国の目指す地域包括ケアではたされませんでした。



患者様アンケートの結果報告をポスター発表する弘前調剤センターの佐藤薬剤師(中央)

健康サポート薬局に認定されました!!

かかりつけ薬剤師・薬局として地域にお住まいの方の健康づくりをサポートできる機能をもった薬局「健康サポート薬局」に、11月18日(金)に県内第1号として弘前調剤センター、12月26日(月)に県内第2号としてファルマ ーツ谷薬局が認定されました!



問題点を先延ばしにするばかりで近い将来破綻してしまうことばだれの目から見ても明らかであると感じました。

また、今以上に貧富の格差が生まれ、貧しい人たちの生活は成り立たなくなってしまうのではないのでしょうか。

そんな日本になってしまいう前に、この国の医療を守っていくため、職業の垣根を越えていくに取り組んでいかなければならないと思うことができました。

日本腎臓病薬物療法学会学術集会

弘前調剤センター 薬剤師 澁谷 友明



参加した澁谷薬剤師

11月19日(土) 20日(日) 横浜で開催された日本腎臓病薬物療法学会学術集会に参加しました。この出張でまず思ったのは、青森県の医療の遅れについてです。他県では院外処方箋に検査値を記載する医療機関が増えつつあるそうです。私はこの辺りでそのような話を聞いたことがありません。これ

からはかかりつけ薬局や健康サポート薬局などが進んでくる上で検査値に基づいた医師への処方提案、患者様への服薬指導が大切になってくることを学びました。ポスター発表では少し前に話題になった腎機能低下者に対する酸化Mgの投与量や抗菌薬の中でも特にレボフロキサシンの適正使用におけるものが多かったように感じました。薬はうまく使えばとてもいいものですが、間違った使い方をすると毒にもなります。慢性腎臓病(CKD)患者は1330万人にものぼると言われ、成人の8人に1人の割合になるそうです。これから腎機能などの検査値に今まで以上に注意して服薬指導などをしていきたいと思いました。

県連薬剤師拡大管理者研修

弘前調剤センター 薬剤師 西沢 光

11月19日(土)に花岡農村環境改善センターで行われた拡大管理者研修に参加しました。今回はアンガーマネジメントシニアファシリテーターの高橋直子氏を招いて、「医療従事者のためのアンガーマネジメント入門」についてお話して頂きました。

高まったパフォーマンス・モチベーション向上につなげることが出来ます。本研修では、そうした感情との向き合い方、コントロールの仕方(WS)で学びました。中でも印象に残ったものが、「お互いに「くするべき」と思っているもの、相手に伝わらない。理解してくれないためにストレスが発生するのである。そこで話し合いをすることで互い

の意見を尊重し合えるようになっていくことができる。」というものでした。ここでは書ききれないほどの興味深いお話・WSの内容などもありました。仕事だけでなく、家庭でも応用できる技術となっていますので、詳しくはお近くの管理者までお尋ねください。

アンガーマネジメントとは文字通り、「Anger..怒り..憤り」を「Management..維持・管理すること」です。皆さんもストレスを少なからず感じながら日々生活していることだと思います。この技術を習得することで怒りの感情と上手に向き合うことができ、イライラ

した感情から解放され集中力が



講師のアンガーマネジメントファシリテーター 高橋直子氏

第35回青森県薬剤師会学術大会

弘前調剤センター 薬剤師 佐藤 武志

11月20日(日)に行われた学術大会に参加しました。今年(2016年)は青森市での開催ということもあり県内各地から約300名もの薬剤師が集まりました。今大会のテーマが「かかりつけ薬剤師になるために」とあり、地域住民に密着した内容の発表が多く、口頭

発表として黒石薬局の大川薬局長が、ポスター発表として黒石薬局の小田桐主任と弘前調剤センターの盛薬剤師が発表しました。様々な発表を聞いている中で、ファルマはそれやっっているよ!と言いたくなるような内容も度々あり、県内でも進んで色々な物事に取り組んでいる薬局だと実感できました。かかりつけ薬剤師をもちませんか? メリットはたくさんあります! 伝えきれないのであえて書きません。知りたい方は是非ご相談を!



「かかりつけ薬剤師となるために職能アピールをからめた活動」のテーマでポスター発表する小田桐主任(左)

J-HOPPフェスティバル in 南関東ブロック

弘前調剤センター 薬局長 相馬 渉

11月26日(土)から27日(日)に北里大学薬学部で行われた第2回J-HOPPフェスティバルIN南関東ブロックに参加しました。メインテーマは「在宅の可能性を拓ける!」でした。J-HOPPとは、全国薬剤師・在宅支援連絡会とのことで、普段はメーリングリストで全国の会員と在宅の疑問や悩みなど交流しています。

今後、より一層在宅医療が必要とされる中で、薬剤師は何かできるのか議論しながら、日々研鑽して、スキルアップしていかなければ生き残れないでしょう。在宅医療に関わる薬剤師の条件は、一つの地域に根ざし、ほっとか(け)ない気持ちで地域の住民や自分の患者様にきちんと責任をもつ薬剤師です。全国の在宅医療に感心の

この研修会は、在宅医療に関する基本と3つの基本領域が一日で学ぶことができるものでした。今回の参加者は、163名

一つの地域に根ざし、ほっとか(け)ない気持ちで地域の住民や自分の患者様にきちんと責任をもつ薬剤師です。



NG(経鼻胃管)チューブの実験風景

ある熱い薬剤師たちと、たくさん交流することができました。それぞれみんなが悩みを抱えながら仕事していることが改めてわかりました。このように全国の薬剤師と情報交換はすることは、日頃の自分たちの業務の見直し、また新しいアイデアをもらうなど非常に有意義でした。みなさんも、今度は一緒に参加してみませんか?

県連事務幹部養成ワークショップ

本部 課長補佐 鈴木 健仁

11月5日(土) 浪岡中央公民館で青森県民連の将来を担う事務幹部養成と事務幹部同士の交流と団結を深め、県連結集の視点を高めることを目的に開催されました。

前半は、健生病院の田代院長が講師となり「県民連事務幹部に求められるもの」という内容で講演されました。後半は各グループに分かれてのワークショップでした。

前半の講演で印象に残ったことは、医師の事務に対する期待がものすごくあるということ。この期待に、どう応えるかが事務幹部職員のこれからの重要な課題になると改めて感じました。

後半のワークショップではグループに分かれて、KJ法を使って討議しました。前半の講演を受けて各グループでテーマを決める



グループのWSについて発表する鈴木課長補佐(左)

県連11・22大学学習会

ファルマ浪岡薬局

主任補佐 田澤 由香里

11月22日(火) 青森市浪岡の中世の館で県連11・22大学学習会が開催され207名が参加しました。「学びを力に! 社会保障解体を阻止する総がかり運動をすすめよう!」をテーマに全日本民連事務局次長の山本淑子氏より講演がありました。大学の卒業と同時に多額の借金(奨学金)を抱え就職しなければならぬ社会、貧困に苦しむ子どもの割合が6人に1人、高齢者に至っては4人に1人と深刻な現状を踏まえ、貧困・失業・病氣は誰にでも起こりうる。だからこそ社会保障は誰でも使える制度



講師の全日本民連事務局次長の山本淑子氏

健生病院周辺訪問行動へ参加して

藤代薬局 中西 将太

11月7日(月) から11日(金)にかけて、健生病院周辺地域の全戸を対象に訪問しました。前回の訪問では、日常生活に問題を抱えている方が多くいたことを受けて、今回も生活にお困りの方がいなか、健生病院地域連携室の方と共に調査してきました。

調査を行っていくと、やはり高齢者の方が多く、日常生活に不安を感じる方もいました。また、これからの季節は雪片付けが大変だ

「原発問題を考える大学学習会」

弘前調剤センター

薬事課 主任 葛西 祐一

12月2日(金) 浪岡中央公民館で開催された第8回原発核燃を考える大学学習会へ参加しました。民連各事業所より、約80名の参加でした。今回の大学学習会では、2015年に原発問題学習パンフレット「被害者に寄り添い いのちと人権を守るために」の改訂に携わった、医療生協さいたま生活協同組合理事長の雪田慎二先生より、パンフレットの内容を分かりやすく解説していただきながら、2011年3月11日に起きた東日本大震災による原発事故を風化させないとの講演でした。原発事故から5年9ヶ月、現実はどうなっているのか? マスメディアに取り上げられず、福島第一原発事故の被害者の困難と苦悩の日々は、何も解決さ



講師の医療生協さいたま生活協同組合理事長の雪田慎二氏

ファルマ制度教育憲法学習会について

ファルマーツ谷薬局 須藤 江利加

11月1日(火)、11日(金)、葛西聡弁護士による「憲法学習会」が開催されました。学習会では、「憲法改正」とは何を目指しているのか? この数年の憲法制定の動きに照らして」と題し、お話がありました。

2013年12月6日に強行採決され、2014年12月10日より施行された秘密保護法は、政府の指示があれば情報隠すことができ、基本的な人権である「知る権利・表現の自由・報道の自由」が侵害され、誰もが

がもつはずの知る権利が閉ざされてしまうということなのです。安保法制については、自衛隊による武力行使が可能になってしまうことにより、命が危険にさらされてしまうということを学びました。

憲法は国民の権利や自由を守るためにあるはずですが、安倍政権が行っている



訪問行動事前打ち合わせの様子 参加する盛薬剤師(写真中央手前)

「だまつちやおられん津軽の会 市民講座」に参加して

弘前調剤センター 薬事課 三上 菜美

11月29日(火) 津軽保健生協二階で行われた『高速増殖炉もんじゅ廃炉後の青森県』に参加しました。講演では弘前大学の先生3名から科学的問題、経済的問題、今後の運動についてお話をいただきました。原子炉は古くなると隣に新築する仕組みで、原発を受け入れると国から交付金

が入ります。六ヶ所住民の年間収入は1人あたり1300万だそう。しかし、恩恵を受けているのは全ての人ではなく格差があるのが現実です。もんじゅ廃炉後は、国から核燃マネーが入らないため青森県は最終処分地を受け入れる可能性があります。受け入れてしまうと、世界からも依頼が



「高速増殖炉もんじゅと再処理工場」のテーマで講義をされた弘前大学大学院理工学研究科教授の宮永崇史氏



全職員が改めて憲法について学びました

くるようになり大変な事態になりかねません。原発や核燃に頼らない地域作りをめざし、廃炉後に

わたしのお気に入り

本部 齊藤 駿介

私のお気に入りは我が家の愛犬であるコタロー(チワワ5歳)です。

それはある日のことでした。少し遅めに起きて、リビングに行くとプルプルと小刻みに震えながらたたずむ子犬の彼がいました。しかもその時なぜか私以外の家族は出かけており、犬を飼うことを前日まで何も教えられていなかった私は突如現れた彼の存在に独り動揺を禁じ得ませんでした。しばらくして母が帰ってくるなり「犬、飼うことにしたから」。笑ってしまうような彼との出会いです。

あれから月日が経ち、彼のもっぱらの趣味はペットボトルのキャップを集めることらしく、ひとしきり満喫したあと、ご満悦な顔でストーブの前やソファに寝そべります。なんとなく彼は幸せ者だと思います。

なかなかいうことを聞いてくれない時やいたずらをする時もありますが、それでもいまだに毎日帰るたびに狂ったように家の中を喜び駆け回る彼の姿を見ると元気をもらえます。

生き物を飼うということは責任もあるし大変なこともあります。それ以上に大きな喜びと学びがあります。我が家も彼のおかげで雰囲気明るくなったと感じています。

これからも大切な家族としてみんな健やかに過ごしていければいいなと思います。



齋藤さんに元気を与えている愛犬コタローくん。ペロッと出た舌がまた可愛いですね

● 実務実習生アンケート ●

ファルマでは毎年実務実習生の受け入れをしています。今年度は弘前調剤センターとファルマ ーツ谷薬局にそれぞれ1名ずつ実務実習生を9月5日から11月20日まで受け入れました。今回はファルマでの実務実習の感想をお二人にお伺いしました。



実習生 今 良仁

Q1. 自己紹介をお願いします(出身地・特技・趣味など)

出身は弘前です。趣味はスポーツ観戦で毎年東京ドームに野球を見に行っています。

Q2. なぜ薬学部への進学を選ばれましたか?

昔から資格を取って地元で就職したいと思っていて、その中で自分に向いている仕事は何だろうと考えた結果、薬剤師という結論になり、薬学部に進学しました。

Q3. もうすぐ実習が終了してしましますが、弊社の印象や実習をやってみていかがだったでしょうか?

実習生でもなじみやすい明るい職場という印象を受けました。実習中は忙しく大変なこともありましたが、その分いろいろな処方を見たり、多くの実践のチャンスがあったりと、とても勉強になりました。11週と短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。



弘前調剤センターで実習した今良仁さん



実習生 高橋 沙希

Q1. 自己紹介をお願いします(出身地・特技・趣味など)

青森大学5年の高橋沙希です。出身は五所川原です。

Q2. なぜ薬学部への進学を選ばれましたか?

小さい頃に薬剤師を見て、自分もなりたいと思いました。

Q3. もうすぐ実習が終了してしましますが、弊社の印象や実習をやってみていかがだったでしょうか?

話しやすい人ばかりで楽しかったです。質問に対しても分かりやすく教えていただき、多くのことを学べた実習でした。



ファルマ ーツ谷薬局で実習した高橋沙希さん



ボウリングを楽しむファルマチームの皆さん

11月10日(木)青森県民医連共済会主催「弘前地区ボウリング大会」に参加しました。ファルマからも多くの職員が参加し、藤代薬局の中西将太さんが第3位に入賞しました。

弘前地区大会



オススメのOTC商品を手にアピールし地域の方々との交流を深めました

11月5日(土)藤代健生病院で開催された健康まつりに出店しました。藤代薬局ではOTC商品の販売、健康食品の試食試飲、お薬相談コーナーを設けて地域の方々との交流しました。

藤代健生病院 健康まつり

写真紹介



講師を務めた藤代薬局の木村薬局長

12月8日(木)藤代健生病院ダイケア利用者・スタッフを対象に睡眠薬の勉強会をしました。参加者は約15名で時間を少し過ぎるくらいまで途切れることなく活発に質問がありました。終了後、「不安がなくなった」や「今後のためになった」という感想をいただきました。

ダイケア勉強会講師



新入会員からのご挨拶の様子

12月3日(土)豪華楼弘前店でファルマ共済会懇親会を開催しました。新入会員からの挨拶にはじまり、同日弘前調剤センターで開催された健康教室の様子や、県共済野球・ソフトボール大会の映像等を見ながら、食事を楽しみました。

ファルマ共済会親睦会



ファルマ ーツ谷薬局の往診同行について紹介する佐藤薬局長補佐

12月13日(火)北海道薬科大学ランチョンセミナーへ、高松常務とファルマ ーツ谷薬局の佐藤薬局長補佐が参加しました。4名の薬学生の皆さんが当社のブースにいらっしやってくださいました。

北海道薬科大学ランチョンセミナー



旅の最後に全ての力を出し切りました!

12月10日(土)〜11日(日)にかけて岩手県に社員旅行へ行きました。2日目はわんこそば大会を行い、ファルマ ーツ谷薬局チームが優勝しました。

ファルマ社員旅行 in 岩手